



# 田中しんすけ

## あけましておめでとうございます 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

みなさんにおかれましては、ご家族・ご友人と健やかに年始を過ごされたことと存じます。今年の干支は丙申(ひのえさる)、「形がはっきりして固まっていく年」であり、「これまでの努力が何らかの形で実を結ぶ年」であるとも言われています。田中しんすけも、これまでの地域や議会での取り組みを見つめなおし、福岡市政の発展と政治参加の促進に向けた「新たな取り組み」に挑戦できる一年にしたいと思います。



### 市立高校における「模擬投票」の実施を要望

昨年6月に公職選挙法が改正され、今夏の参議院議員選挙においては、現在の高校3年生と2年生の一定程度が投票権を有することになります。今回の質問では、実際の投票行動を通じて政治や選挙の意義を学ぶ「模擬投票」を、市立高校において早期に実施するよう強く要望。教育委員会は、「選挙管理委員会による出前講座の利用を含めて、教育指導計画を作成していく」と約束しました。また、現在は小学校6年生を対象にしている「明るい選挙出前授業(模擬選挙)」については、その対象を中学3年生まで拡大するよう提案。選挙管理委員会は「学校や民間団体と連携しながら模擬選挙(も含めた出前講座)の実施を拡大していく」と答弁しました。

### 参議院議員選挙、いよいよ迫る!

### 市立学校における主権者教育の充実に向けて提案しました

### 中学校・高校における生徒会活動の「実態調査」を提案

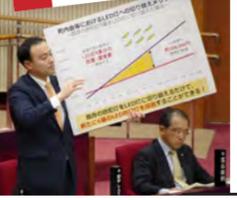
生徒会活動は「集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる」ために非常に有意義なものです。そこで、生徒会活動を活性化させるために、市立中学校および市立高校における「生徒会活動の実態調査」を実施してはどうかと提案しました。教育委員会からは「**生徒会活動における主権者意識や社会参画の力の育成の実態調査を新たに実施し、充実した生徒会活動が展開されるよう取り組む**」という積極的な回答を引き出しました。

市立学校における主権者教育の充実について



▲高校生の主体的な取り組みにも期待!

### 議会活動



### 防犯灯の設置で夜道をもっと明るく、歩きやすく!!

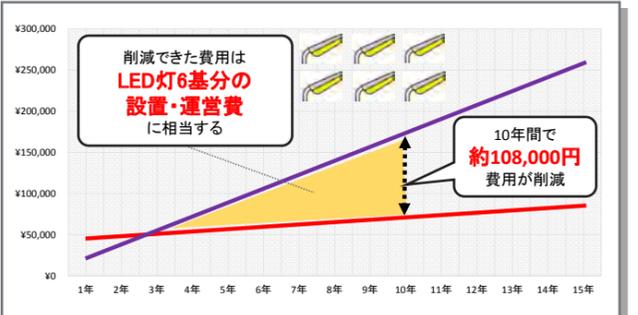
### 防犯灯のLED灯への切り替え促進と新たな『道路照明灯管理システム』を提案しました

防犯灯の設置および管理に対する支援について

### 防犯灯の基礎知識 防犯灯補助金制度について

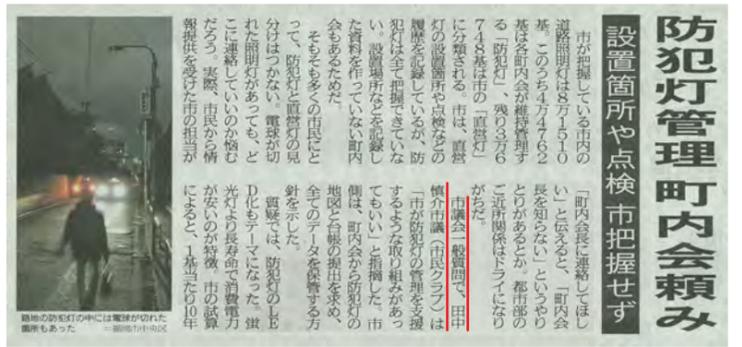
町内会等が生活道路に設置する防犯灯については、福岡市は工事費や電気料金の補助を行なっています。防犯灯1基あたりの標準的な工事費約25,000円(電柱共架式・10W・LED灯)に対して、市からの補助は約15,000円で、差し引くと町内会の負担は約10,000円です。また、防犯灯1基あたりの標準的な年間電気料金は約1,600円。これに対して市からの補助は約1,000円で、差し引くと町内会などの負担は約600円になります。

### 1基当たり10年間で21,600円の節減効果 LED灯への切り替えで維持管理費用がこれだけお得!



既存の防犯灯をLED灯に切り替えるだけで、新たに6基のLED防犯灯を設置することができる!

町内会等におけるLED灯への切り替えメリットの図 ※既存の防犯灯5基をLED灯に切り替えた場合



▲2015年12月7日 西日本新聞 一部抜粋

福岡市は現在、地域が設置している防犯灯について、LED灯への切り替えを推進しています。蛍光灯1基をLED灯に切り替えた場合、10年間で町内会が負担する電気料金などの維持管理経費が約21,600円削減できると言われています。また、「実際に既存の防犯灯5基をLED化した場合、浮いたお金で防犯灯を幾つ増やせることになるのか?」という質問に対しては、「**仮に蛍光灯5基をLED化する場合、切り替え後、10年間で削減できる経費を見越すと、5基のLED化に加え、新たに防犯灯6基の設置が可能となる**」との答弁。防犯灯の増設をご検討の自治会・町内会のみなさんへの参考になればと思います。

### 直営灯と防犯灯を一括管理 『道路照明灯管理システム』を新たに提案!

福岡市は自前の『道路維持管理システム』を使って、市内のすべての直営灯(幹線道路にある大きな街灯)の設置場所や補修履歴などを管理しています。今回の質問では、「このシステムを改良することで、町内会等が設置している防犯灯も併せて管理できる仕組み作りができないか?」と提案しました。地域の防犯灯の設置個所も地図上で管理できれば、町内会等にとっても防犯灯の管理が楽になるというメリットが生まれてくると思います。市は、「費用対効果も踏まえながら今後検討していく」と前向きに答弁しました。

### 一般質問



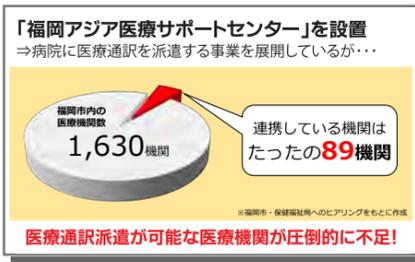
### インターン学生の研究成果を議場で披露! 外国人にとって住みやすいまちづくりを訴えました

### 外国人に対する情報提供 相談窓口機能の強化を

平成23年度に実施された『福岡市外国籍市民アンケート』によれば、本市の在住外国人が困っていることとして、「言葉が通じないことで日常生活に悩む外国人がいること」が大きな項目として挙げられています。外国人の暮らしに関する「情報提供」と「相談窓口」機能を向上させることが求められています。本市は現在、情報提供・相談窓口の機能として①外語版・福岡市ホームページ、②レインボープラザ、③外語ラジオLove FMの3つの事業を展開していますが、いずれも認知度が低いことを指摘。さらに、**利用率までみると、いずれの施策も約8割の外国人が利用していないという事実を明らかにしました。**この指摘に対して、総務企画局長は「多言語による情報発信を継続的にを行い、外国人が必要としている情報をさらに充実させること等により、多くの方に利用されるよう努めていく」と答弁。外国人への情報提供施策の改善を約束しました。

外国人にとって住みやすいまちづくり

### 翻訳アプリによる医療通訳システムの導入を!



在住外国人にとってのもう一つの悩みは、「病院探しで困る」「言葉が通じず、自身の症状を正確に伝えられない」など、医療環境に関するもの。質問では、福岡アジア医療サポートセンターが実施している「医療通訳」を派遣する事業について、登録している医療機関数は増えているものの、**その登録率は市内の病院及び医科診療所を合計した1,630機関のうちたったの89機関(5.5%)と非常に低いことを指摘。**今後この割合を高めていく必要性を訴えました。また、ボランティア通訳の派遣がままならない状況でも、多言語翻訳アプリを搭載したタブレット端末を用いて問診票の記入、往診、処方箋の説明を行う仕組みづくりを市が支援するよう提案しました。

### 地域活動



第3回平尾まちゼミ 商店街活動報告

### 田中しんすけも、まちゼミ講師として参加しました!

2015年9月7日から10月9日までのおよそ1か月間、平尾商工連合会が主催する「第3回平尾まちゼミ」が開催されました。愛知県岡崎市が発祥といわれるこのまちゼミですが、店主が講師役を務め、受講生(お客さん)に対してプロならではの知識や技術をお伝えするという商店街イベントです。



▲まちゼミでの講座の様子

### 日常生活で困った事などお気軽にご相談ください!!



西高宮小学校	卒業	1991年	アクセンチュア(株)	入社	2004年
西南学院中学校	卒業	1994年	福岡市議会議員1期	当選	2007年
筑紫丘高等学校	卒業	1997年	福岡市議会議員2期	当選	2011年
九州大学法学部	卒業	2001年	福岡市議会議員3期	当選	2015年
早稲田大学大学院	修了	2004年			

**田中しんすけ市政相談所**  
 〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-21 2F  
 TEL:092-521-3650 FAX:092-521-5221  
 E-mail:info@tanakashinsuke.jp

田中しんすけ 検索

